



平成 17 年 10 月 3 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 グ ッ ド マ ン
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 本 明
(JASDAQ ・ コード 7535)
問 い 合 せ 先 執 行 役 員 余 語 岳 仁
経 営 企 画 室 長
電 話 番 号 052-774-4350

マイクラス社との独占的販売代理店契約締結のお知らせ

当社は、平成 17 年 9 月 30 日付で、米国の脳動脈瘤治療用デバイスメーカーである Micrus Endovascular Corporation(CEO John Kilcoyne、以下マイクラス社)と日本国内における独占的販売代理店契約を締結いたしましたので、ここにお知らせいたします。

記

1. 独占的販売代理店契約の目的と内容

当社は、循環器分野(インターベンショナル・カーディオロジー)で使用される血管内治療用および検査用カテーテルの輸入、開発、製造、販売を中心に事業を推進してまいりました。特に、近年は最先端技術を使用したデバイスを自社開発するために、平成 14 年に米国企業 2 社(アバンテックヴァスキュラー社、ライトラボ・イメージング社)を買収し、経営資源を集中的に投下してまいりました。

一方では、今後成長が期待される脳血管内治療分野(インターベンショナル・ニューロロジー)および放射線科治療分野(インターベンショナル・ラジオロジー)に進出するため、平成 17 年 7 月に株式会社アイアールメディカル工房を子会社化しております。

マイクラス社は、経皮的脳血管内治療分野(脳動脈瘤)の代表的な治療方法であるコイル塞栓術用のデバイスを開発するメーカーであり、その製品である三次元マイクロコイルは、動脈瘤内での張りが良く、留置後の隙間が生じにくい、留置する際のマイクロコイルの離脱時間が短い、という優位性があります。また、マイクラス社のマイクロコイルは、アメリカ FDA の許可、ヨーロッパ CE マークを取得済みであり、米国、欧州の市場では大きな成功を収めています。日本におきましても、厚生労働省の承認を非常に近い将来取得できる見込みであります。

この度、マイクラス社と独占的販売代理店契約を締結することにより、株式会社アイアールメディカル工房の買収との相乗効果が期待されるとともに、製品の優秀性から、当社は今後大きな成長が期待される脳血管内治療分野において重要な地位を占めることができると考えております。

【独占的販売代理店契約の内容】

- (1) 内容 日本国内における独占的販売代理店契約
- (2) 契約品目 三次元マイクロコイル、デリバリーデバイスほかすべての製品ライン
- (3) 契約期間 平成 17 年 9 月 30 日から 5 年間、以降 1 年毎の自動更新

2. マイクラス社の概要

- (1) 名称 Micrus Endovascular Corporation
- (2) 主な事業内容 脳血管内治療用マイクロコイルの開発、製造、販売
- (3) 設立年月日 1996年6月
- (4) 本社所在地 米国カルフォルニア州サニーベイル
- (5) CEO John Kilcoyne
- (6) 株式公開 2005年6月

3. 販売開始時期

平成17年11月頃を予定

4. 業績に与える影響

3年後において30億円の売上げを見込んでおります。

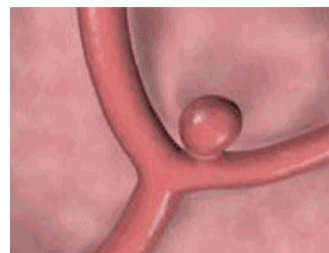
以 上

(ご参考)

脳動脈瘤とは

脳内の動脈にできた異常な膨らみが脳動脈瘤です。日本では、毎年人口1万人あたり1.5から～2人に脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血が生じていると推定されています。くも膜下出血は、出血性脳梗塞や脳機能障害を引き起こし、最悪の場合には死に至ることもあります。

そのため、未破裂で見つかった動脈瘤には破裂予防のための治療を施すことが重要となります。

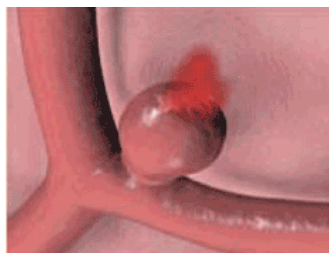


脳動脈瘤のイメージ図

脳動脈瘤の発生率

脳動脈瘤を持つ患者さんのうち、年間で約0.2～0.3%の方が出血する可能性があると言われていています。

米国では、動脈瘤の破裂によるくも膜下出血の発生件数は、年間3万人を超えており、うち10～15%が病院に到着するまでに死亡し、50%以上が破裂後30日以内で死亡しています。



脳動脈瘤が破裂するイメージ図

脳動脈瘤の治療方法

代表的な脳動脈瘤の治療方法には、開頭手術（クリッピング術）と血管内治療（コイル塞栓術）があります。

■ 開頭手術（クリッピング術）

外科的に開頭することで脳動脈瘤のできた血管を確認し、脳動脈瘤の頸部を金属製のクリップで閉鎖することで血液が脳動脈瘤に流れ込むことを防ぐ方法。

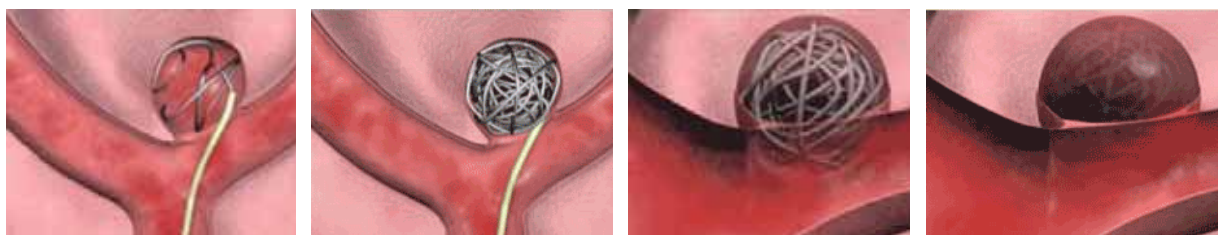
開頭することによる患者さんの肉体的負担が大きい。

■ 血管内治療（コイル塞栓術）

大腿部の太い動脈からカテーテルを挿入し、大動脈を通り頭部の脳動脈瘤まで誘導したうえで、このカテーテルを通して塞栓物質（非常に細いプラチナ性コイル）を脳動脈瘤の中に詰め、脳動脈瘤内に血液が流れ込むのを遮断することで破裂を防止します。動脈瘤にコイルを詰めると動脈瘤内に血栓ができて自然に固まり、これにより、動脈瘤の破裂の危険性はほとんどなくなります。

また、コイル塞栓術は外科的手術とは異なり開頭術を必要としないので、患者さんの肉体的負担の少ない（低侵襲性）治療方法です。

コイル塞栓術による治療のイメージ図



Micrus Endovascular Corporation ホームページより転載